



# TFU ALUMNI BULLETIN

## 東北福祉大学同窓会

## 会報

第15号

東北福祉大学

学長 萩野 浩基

〒981-8522 仙台市青葉区国見1-8-1

電話(代) 022-233-3111

FAX(代) 022-233-3113

ホームページ

http://www.tfu.ac.jp

### 総合マネジメント学部と 医療経営管理・リハビリ学科

4月開始

東北福祉大学は永年、児童・障害・高齢者福祉等を基盤に、専門能力を持った即戦力の人材を世に送り出してきた。これらの蓄積が今、新たな領域に生かされようとする。

既存の総合福祉学部を再編し、四月から「総合マネジメント学部」の新設と、健康科学部にリハビリテーション学科、医療経営管理



### ゴルフ部祝勝会を開催

プロOBら約500人でにぎわう

今年度輝かしい成績を残した本学ゴルフ部の祝勝会が十二月十一日、ホテルメトロポリタン仙台で開催された。OBのプロゴルファーや米大リーグ、ドジャースの斎藤隆投手が駆けつけるなど約五百人が出席し、盛況だった。

主催者を代表して、萩野浩基学長が「何回も優勝を飾ったゴルフ部の選手は頑張った。体と心を鍛えている成果だ。皆さまの温かいご支援に感謝申し上げます」とあいさつ。続いて、ゴルフ部の大竹栄一郎部長が「今年はこのようにというくらいに優勝できた。日ごろの精進の賜だ。今後も努力、精進を重ねてほしい」と述べた。



挨拶する萩野学長（後方は選手たち）

仙台商工会議所の丸森伸吾会頭は「これだけ優勝すると他からうらまれる（笑い）。今後も精進して優勝につなげてほしい」と祝辞を述べた。プロのトーナメント

理学科を設置する。厚生労働省はこのたび、医師・看護師等が専門業務に専念するため診断書、診療録及び処方せん、主治医意見書の作成、診療や検査の予約等を医療事務職に役割分担されるように、との通知を都道府県知事に送付した。財務、情報、医療等の分野を統合・連携するマネジメント人材が求められ、医療事務・経営に携わる人材、とりわけ企業、行政、福祉分野でも活躍できる人材を育てる医療経営管理学科が目ざされている。六月には附属病院「せんだいホスピタル」が開業される。福祉分野に限らず、あらゆる職種で通用する人材育成を図る。

### 第6回日本社会福祉学会 政策・理論フォーラム

第六回日本社会福祉学会政策・理論フォーラムが十一月十八日、本学ステーションキャンパス五階で開催された。テーマは「社会福祉政策研究における『理論』の評価と展望」。本学教員をはじめ学会員ら全国から約二百人が参加し

萩野浩基学長らが開催あいさつを述べた。第一部のテーマは「社会福祉政策の現代的评价」で、本学の小笠原浩一教授が「社会福祉政策理論としての三浦理論の特質と歴史的意義について」を発表した。第二部のテーマは「社会福祉政策理論の展望」で、前環境省事務次官の炭谷茂氏ら三人が発表し、その後、質疑応答、一、二部合同で討論が行われた。



熱を帯びた研究発表

「却って教えられることが多い、刺激を受けたのは自分であったかもしれない」と結んであった▼本学は1998年にインターンシップ制度を導入し、今年で十年目を迎えた。東北地区の大学ではいち早くカリキュラムに採り入れ、その内容の充実にも努めている。今年度は37事業体に66人の学生が出向いた。得たい体験をした学生の今後が楽しみだ。（国見 太郎

### 日本感性福祉学会 第7回大会 テーマ「子どもと感性」

第七回大会が十一月十八日、音楽堂けやきホールほかで開催された。テーマは「子どもと感性」。学会員や学生ら約三百人が参加。渡辺信英学長補佐が開会のあいさつを述べた。



開会のあいさつをする渡辺学長補佐

午後五時のシンポジウムのテーマは「感性・子ども・教育」。本学の有田和正教授、上條晴夫准教授、宮城学院女子大の戸野塚厚子教授がシンポジストとして出席し、木村進教授がコーディネーターを務めた。それぞれの教育体験を交え、「踏まれても強くなる場が必要」（有田）、「楽しい体験が感性をはぐくむ。本による学びも大切」（上條）、「学ぶことの楽しさ、感動を持つような授業が感性を育てる」（戸野塚）と話した。木村教授は「教育の営みは子どもの発達、感性を信じないといけない」とまとめた。

「健康福祉ケアサービスの準備方法」について、最終日はセッション4「ケアサービスの準備方法」と総括を行い、双方の共同研究がまとめられた。

### 第3回仙台フィンランド学術会議など開く

第三回仙台フィンランド学術会議が十一月十三日から十五日まで本学ステーションキャンパスを中心に開催された。フィンランドの一行はラウレア応用科学大から十人、ヘルシンキ経済大三人、自治体のエスポボ市、バンタア市から各一人ずつで総勢十五人から成る。



真剣な表情で臨むフィンランド側

初日は八階の国際交流ホールで、ヘルシンキ経済大のK・ミューラー教授がメンバーを紹介し、萩野浩基学長が歓迎のあいさつ。「共同研究が日のあたるに」日本感性福祉学会と連携する「感覚ミュージアム」を例に挙げた。最後は「若い人にはチャレンジしてほしい。感性福祉は素晴らしいテーマだ」と結んだ。

「健康福祉ケアサービスの準備方法」について、最終日はセッション4「ケアサービスの準備方法」と総括を行い、双方の共同研究がまとめられた。

### 学一如行

学生の社会力が低下していると言われる中で、本学学生を評価する記事を目にした。仙台発・大人の情報誌「りらく」9月号（8月28日発行）の編集後記で、発行元の㈱プランニング・オフィス社に今夏、インターンシップで訪れた大学生に触れた記事だ▼以下は抜粋だが、「尊敬語、丁寧語、謙讓語を使い分け、しっかりとした礼儀も身につけている好青年」と紹介されていた。その好青年とは本学産業福祉学科二年の伊藤渉君であることが後日、判明した。将来の進路として出版業界を希望する伊藤君はインターンシップ制度を利用して、8月1日から10日間、同社を訪れた▼インタビュー現場の立ち会い、原稿作成、校正までの編集作業、広告主との打ち合わせ、はては書店巡りまで、同社の好意により一通りの体験をすることができた。伊藤君は11月に発行されたインターンシップ研修報告書に「広告業務や企業訪問など、毎日が発見の連続で新鮮なものであった。経験したことで自信につながった」と記した▼現場でのハツラツとした伊藤君の姿が目につく。礼儀正しい好青年とあれば、受け入れ側も大いに歓迎したろう。編集後記の後半には「却って教えられることが多い、刺激を受けたのは自分であったかもしれない」と結んであった▼本学は1998年にインターンシップ制度を導入し、今年で十年目を迎えた。東北地区の大学ではいち早くカリキュラムに採り入れ、その内容の充実にも努めている。今年度は37事業体に66人の学生が出向いた。得たい体験をした学生の今後が楽しみだ。（国見 太郎

昭和40年 (1965年) 当時

本学2番目の学科 産業福祉がスタート 4月に総合マネジメント学部に移行

東北福祉大学は一八七五年(明治八年)に曹洞宗専門学支校として誕生した。幾多の変遷を重ね一九五八年(昭和三十三年)に短期大学になり、六二年(同三十七年)に四年制大学に昇格、社会福祉学部社会福祉学科を設けた。短大時代から数え、卒業生の数は三万人を超えている。さて、大学の時々を振り返るシリーズは今回が15回目。今春、新しく総合マネジメント学部が誕生するが、その中に産業福祉マネジメント学科が加わる。そこで今回は本学に産業福祉学科が誕生した一九六五年(昭和四十年)を取り上げる。

時代の要請に応え

本学二番目の学科となったのが産業福祉学科である。誕生前の一九六〇年に池田勇人首相(当時)が所得増進計画を提唱したものの、当時の岩戸景気も徐々に失速。一方では、産業の発達に伴い、労資関係、労働問題に関連した社会保障制度の整備が急がれた。

六四年六月の理事会では朽木学長が「時代の要請である産業界、労働界の福祉業務の向上を図るため、専門技術家を養成し、社会保障制度の振興に寄与したい」と設置説明を行った。教授会の承認を受けた後、文部省に増設届出書を

活発な社会事業実習

学業関係では社会事業実習が夏休みを利用して活発に行われ、東北六県をはじめ北海道、新潟、東京など12の自治体で54カ所、九十七人の学生が福祉事務所、社会福祉協議会、病院などに出向いた。巡回指導時には教員がタオル持参で訪れたが、実習先訪問は現在も脈々と根付いている。

頑張ってます 今も昔も

また、精神衛生法が改正され、保健所に精神衛生相談員と精神衛生指導員が配置されるようになり、社会福祉分野が大きく前進した。本学でも実習や社会事業関係のカリキュラム編成に一層の拍車がかかった。



昭和40年当時の校舎。右側が図書館と研究棟

四年制大学一期生・菅本氏が語る



一九六二年の四年制大学一期生として入学、六五年度に社会福祉学科を卒業した菅本昭夫氏(東北福祉大学教務部次長)に、回想を聞くため直撃インタビューした。

四十年前と今と一番の違いは？ 社会学界にも福祉を認める人が認めない人がいた。しかし、今ではすっかり福祉が学問として確立された。当時の安田陸郎学部長が「福祉とは人の幸せを指す言葉で、いろいろな学問につながる」とおっしゃっていたことが思い出される。

弓道部が創部30周年 記念祝賀会にOB49人が駆け付ける

本学体育会弓道部の創部三十周年記念祝賀会が十二月一日、仙台市のホテルで開かれた。卒業生四十九人に現役部員を含め約百人が参加し、体育会副会長の佐藤伊知子准教授が「三十年は努力の結晶だ」と祝辞を述べた。



懐かしい顔触れがそろそろ あいさつする岡田部長 鏡開き

平成20年度 入試情報 体育会各部の成績

Table with columns: 区分, 学部, 学科, 試験日, 試験会場, 合格発表日. It lists exam details for B and C courses.

Table with columns: 区分, 学部, 学科, 試験日, 試験会場, 合格発表日. It lists exam details for the University of Advanced Studies (大学院).

Table with columns: [修士課程], 出願期間, 選考日, 合格発表日. It lists application and exam dates for graduate programs.

■総合福祉学部・子ども科学部・健康科学部 入試センター TEL 022-717-3312 FAX 022-717-3332 ■通信制大学院 総合福祉学研究科(修士課程) 問い合わせ TEL 022-233-2211 FAX 022-233-2212 ■大学院 総合福祉学研究科(博士・修士課程) 問い合わせ TEL 022-727-2288 FAX 022-728-6420

東北福祉大学ホームページ http://www.tfu.ac.jp

陸上競技部 全日本大学女子駅伝 (10月28日、宮城陸上競技場) 仙台市役所前 6区間38・6キ 東北福祉大 2時間20分45秒 21位 全日本大学駅伝 (11月4日、熱田神宮) 伊勢神宮 8区間106・8キ 東北福祉大 5時間16分21秒 21位 ハンドボール部 全日本学生選手権 (11月10日、函館市) 女子1回戦 東北福祉大 21-24 中京女子大 テニス部 全日本ソフトテニス選手権 (10月21日、浜松市花川運動公園) 男子準決勝 渡辺・森田組 敗退 卓球部 東北学生連盟会長杯争奪大会 (10月7、8日、栗原市若柳総合体育館) 1回戦 東北福祉大 0-6 関西大

# 同窓会便り ①

## 新潟・山形 釧根地区 特色ある同窓会活動 公開講座・大学説明会等開く

新潟県同窓会は本学が後援する恒例の市民公開講演会並びにシンポジウムを九月三十日(日)、新潟県ホテルで開催した。

「世界の子どもにワクチンを」

本委員会の細川佳代子理事長と歌手の早見優さんをゲストに迎え、一般市民を含め百七人が出席した。

細川理事長を講師にした講演会は「世界の子どもに、ワクチンを届けています」がテーマ。「世界の子どもにワクチンを日本委員会」が、日本で唯一ワクチンの供与活動に焦点を絞ったボランティア団体であることを紹介し、「今、特に低開発国では、ワクチンが不足している子どもたちが死んでいる。これを防ぐためにもワクチンが必要」と訴えた。

シンポジウムでは細川理事長、

早見さんが特別サポーターとして出席。医師の塚田次郎さんが「ワクチンの効用」を、新潟県同窓会事務局長の三林けい子さん(昭59社福卒)が「ミャンマー訪問」についての意見や研究発表を行い、身近でできるボランティア活動について具体例を挙げながら説明し、出席者に積極的な参加を呼びかけた。



シンポジウムに特別サポーターとして出席した細川さん(左から2人目)と早見さん(右から3人目)

## 梅和会 学び舎跡地に 石碑建立

十七年間にわたり活動を続けてきた梅和会(加藤錦弥会長)では、会員の高齢化に伴い、今後の活動に支障があるとして、九月五日の集いを最後に解散することを決めた。

解散にあたり、残った運営資金の有効利用について協議した結果、



石碑を囲んで喜び合う梅和会の皆さん。前列右から4人目萩野学長・左から2人目加藤会長

除幕式は国見キャンパス坐禅堂前の建立現場で、解散の集いがあった当日に行われ、萩野浩基学長と梅和会有志十二人が出席した。加藤会長は「大学当局の全面的な理解と協力があって、石碑の建立ができ、除幕の日を迎えられた」と感謝とお礼の言葉を述べた。萩野学長は「予想以上の立派な石碑に驚いている。皆さんの学

## 青森県同窓会 野球部応援

第三十八回明治神宮野球大会の出場権をかけた東北・北海道地区代表決定戦が十月十三日から青森県野球場で開かれ、本学が仙台六大学連盟代表として出場した。

青森県野辺地町在住の市ノ渡康勝さん(昭42社福卒、野球部O

山形県同窓会は本学との共催で十月八日(祝)、大学説明会と公開講座を山形国際ホテルで開催した。

大学説明会には本学入試センターの千葉幸喜次長が出席。県内から集まった約六十人の高校生に、大学の紹介や平成二十年度の入試要項について具体的な説明を



進学相談に応じる千葉入試センター次長

行った。個別相談も開かれ、対応に当たった。

山形市内はもとより鶴岡、酒田、新庄、米沢と全県にわたり出席した高校生に、本学への関心の高さがうかがわれた。

公開講座は本学の小笠原浩一教授があつた梅檀中學校跡地に記念の石碑が建立されたことは誠に意義深い」とあいさつを述べた。

最後に出席者全員で梅檀中學校校歌を五番まで斉唱した。

石碑は高さ1メートル、幅と奥行きが50センチ。「伊達冠」(宮城県丸森町産)と呼ばれる石を用い、正面に加藤会長直筆により「梅檀中學校」と刻まれている。

※梅和会とは、梅檀中學校を昭和二十年、二十一年度に卒業した同級会の名称。

B)が「母校野球部を応援しよう」と同県同窓会事務局と山岳部OB会に呼びかけて実現。にわかづくりの横断幕を用意し、試合当日に駆けつけた。

神宮大会出場は果たせなかったが、健闘した選手に惜しみない拍手と声援を送り、今後の活躍に期待を寄せた。県同窓会が主体的に

授が「社会福祉の新潮流、地域包括ケア」と題して、約四十人の聴衆に講演した。

なお、山形県同窓会は今年も同様に大学説明会と公開講座を開催することを決定し、早くもその準備に取り掛かっている。

北海道釧根地区同窓会と本学共催の公開講座が十一月二十四日(土)、釧路市のアクアホールで開催された。講師に鈴木春彦氏(本学同窓会事務局、元東北高校

## 三十年ぶりの訪問に 感嘆の声

昭和五十二年度社会福祉学科を卒業した十三人が六月三十日午後、本学を訪問した。男性五人、女性八人で札幌、青森、新潟、千葉からの参加者もいた。

キャンパス中庭にそびえる松の木を見て「当時のままで」と感嘆の声を上げ、感慨深げに見入った。当時の校舎(現三号館)を背景に記念撮影に納まり、美術工芸館を見学した。

幹事役の鈴木正二郎さんは「懐かしい。私たちは貧乏学生だったが、学生の質がよくなっている」と感嘆の声をあげ、感嘆の声をあげ、感慨深げに見入った。当時の校舎(現三号館)を背景に記念撮影に納まり、美術工芸館を見学した。

「梅檀中學校」と刻まれている。 ※梅和会とは、梅檀中學校を昭和二十年、二十一年度に卒業した同級会の名称。

## ご芳志に感謝

久多良一規氏(昭53社福卒、盛岡市在住)から八月末、同窓会事務局宛に金一万円が寄付された。会報で母校の隆盛を知り感動、何らかの形で貢献したいとの手紙が添えられていた。大学当局では好意に応えるため有効な使途を模索している。



横断幕を掲げ応援する同窓生の皆さん

野球部長を招き、「練習で得られないメンタルスピリット、野球を志す者の大切さ」と題して、現役高校球児やリトルシニアリーグの選手、指導者、保護者ら約百人に心の鍛え方を伝えた。

鈴木氏は「練習がたかくなってやめようと思ったこともあろうが、自分が選んだ道を全うしようという気持ちで頑張っしてほしい。困難や悩みを打ち破れば自信と誇りが身についてくる。いかなる時

と、仕事を通じて接する後輩学生を評価した。

も自分のチャンスと捉えて取り組めば能率も上がり、疲れもない。ストレスもたまらない」とアドバイスした。

一方、指導者には「大会で優勝するぞという明確な目標を持つことが大切。球児たちには無限の可能性がある。自ら進んで力を発揮する能力が備わっている。それを上手に指導し、あきらめずパワーを出せるよう指導してほしい」と訴えた。



変貌したキャンパスに驚く13人の訪問者

夕方には秋保温泉で四人が合流して、同級会を開く。メンバーは昭和四十九年次一年五組に在籍し、所在の分からない仲間の消息を集め、定期的な同級会開催を希望している。

心当たりのある方は幹事役の鈴木正二郎さん(Tel 022-2753598、仙台社会保険病院庶務課)まで連絡してください。

## 創成期のOB集う バレーボール部

バレーボール部の創成期を築いたOBが十一月十日、仙台市内のホテルでOB会を開催した。短期大学時代の吉田克己氏(昭36社福卒)を実行委員長に、昭和三十六年から同四十六年までの卒業生約十人が宮城、岩手、山形、埼玉から駆けつけた。

会場には色あせた初代、二代目のユニホームやトレーニングウェア、各試合のプログラム、年代別の名簿など、懐かしい資料が展示

も自分のチャンスと捉えて取り組めば能率も上がり、疲れもない。ストレスもたまらない」とアドバイスした。

一方、指導者には「大会で優勝するぞという明確な目標を持つことが大切。球児たちには無限の可能性がある。自ら進んで力を発揮する能力が備わっている。それを上手に指導し、あきらめずパワーを出せるよう指導してほしい」と訴えた。

これら貴重な資料を提供した佐藤春樹氏(昭40社福卒)は「当時を思い出すことで、みんなの気持ちがあつなればうれしい」と話し、テーブルを囲んで、部創設時の話題に大いに盛り上がった。

昭和四十四年を最後に途絶えていた会。これを機会に次回開催の気運も高まった。



創成期を築いたOB会であいさつする吉田実行委員長

ここ数十年、活動が途絶えていた山岳部OB会が九月二十九日(土)午後二時三十分、母校で総会を開催した。会員の八木沢克昌氏(昭54社福卒)が外務大臣賞を授与(平19・22発行、会報13号)に詳細掲載したことを契機に同会を復活させ、再生山岳部OB会としてスタートしようという願いが込められた。

総会には八木沢氏のほかOB、OG十八人が全国から駆けつけ、祝福した。OB会から八木沢氏に受賞記念としてデジタルカメラが贈られた。その後、今後の事業活動計画等を決定した。

## 山岳部OB会復活

「飛び出す仮面のカードを作ろう」という企画には、親子での参加が増えるなど、総体的な売り上げ増にも大いに寄与している。

読者の皆さんには、大学訪問の際に新装なったミュージアムショップにぜひ立ち寄りいただきたいものだ。

開館時間は10:00~16:30

## ミュージアムショップ 販売コーナーが充実

十一月一日、ミュージアムショップが誕生した。これまで館内に設けられていた販売コーナーを工芸館入り口右手に移動した形だが、面積の拡張とともに、空間の色彩、雰囲気も格段に向上した。

もちろん品揃えも豊富になった。芹沢作品の型染めをデザインした手提げ袋やのれん、絵はがきに、芹沢氏が生前、使用していた八尾の和紙を素材にしたレターセット、ポケットノートが新たに加わった。

お買い求めのベスト3は風呂敷(五百円)、卓上カレンダー(千五百円)、ガーゼハンカチ(三百円)。仕入れを担当する職員は「選んだ品物が出るとうれしい」と目を細めた。

開設にこぎつけるまでには創意工夫が凝らされた。どうしたら人々の目に止まるか、魅力を打ち出せるかに苦心した。まず、ショップには工芸館の受付を経ずに外から入れるようにした。学芸員の本田秋子講師は「外から見た人に一瞬で『面白そうだ』、何かがある」と思わせる工夫をした。ガラス面を生かして、中の様子が分かるようにしたのもその一つ」と打ち明けた。

店内ではワークショップも開かれている。「飛び出す仮面のカードを作ろう」という企画には、親子での参加が増えるなど、総体的な売り上げ増にも大いに寄与している。

読者の皆さんには、大学訪問の際に新装なったミュージアムショップにぜひ立ち寄りいただきたいものだ。

開館時間は10:00~16:30



ミュージアムショップ入り口正面

## 東北福祉大学 芹沢銈介美術工芸館 展示予定

年	2008年		2009年	
月	4/21(月)~7/21(月・祝)	8月5日(火)~9月15日(月・祝)	10月1日(水)~12月17日(水)	1月20日(火)~3月20日(金・祝)
展示内容	特別展「染色家 芹沢銈介と考古学者 芹沢長介」 —ふたりの仕事と遊びぬく眼—	企画展「芹沢銈介のはがき絵」	特別展「芹沢銈介の生活デザイン」	企画展「芹沢銈介のデッサン」

開館時間 10:00~16:30 (入館は16:00まで)  
 休館日 展示替え期間、入試期間  
 入館料 一般300円、学生200円 (高校生以下、本学学生・教職員は無料)

〒981-8522 仙台市青葉区国見1丁目8番1号  
 東北福祉大学2号館内 TEL 022-717-3318  
 FAX 022-717-3324

# 同窓会 便り ②

北海道で三つ目、全国では十五番目になる同窓会が札幌地区に誕生した。

設立総会は十月二十日(土)午後三時から札幌後楽園ホテルで、秋野浩基学長、大和田直樹教授、本学同窓会の阿部靖彦事務局長らと会員六十九人が出席して、親睦を深めた。

## 富山県同窓会

第三回富山県同窓会総会は九月八日(土)午後二時三十分から射水市の第一インテックで、会員十二人が集まって開催された。母校からは小松洋吉教授が来賓として出席。総会に先立ち、真新しい「富山県同窓会旗」が贈られた。

総会では、本多孝夫会長(昭42社福卒)が病氣入院中のため、寺忠信副会長(昭47産福卒)が「立派な同窓会旗が贈られ、この旗の下に県在住同窓生が集い、活動が

## 山形県同窓会

平成十九年度の総会は十月八日(祝)、山形国際ホテルに秋野浩基学長、渡部剛士元本学教授を来賓に迎えて開催された。県内在住の同窓生二十三人が参加した。

新調された「山形県同窓会旗」が秋野学長から佐藤正知会長(昭42社福卒)に贈られ、記念写真を行った。旗を広げた佐藤会長は「同窓会を象徴する旗が贈られてとてもうれしい」と謝辞を述べ、秋野学長は「同窓会旗の下に大きな輪ができるよう祈念する」と期待をにじませた。

協議では、平成十八年度事業活動、収支決算、平成十九年度事業計画と収支予算案が承認された。また、会則の一部を改正し、同窓会のさらなる発展・充実を図る

は大学と連携を密にして発展を期したい」とあいさつした。秋野学長は「道都札幌に誕生し、大変うれしい。本日の出席者を基に輪を広げてほしい」と祝辞を述べた。

## 道内で3つ目 札幌地区に同窓会誕生

富所寛治さん(昭49社福卒)が設立経過を説明し、議案が審議された。その結果、原案通り、満場一致で承認された。開会のあいさつをした。次いで小松教授が「富山県同窓会がますます発展するよう期待したい」と祝辞を述べ、議事に入った。

平成十八年度の活動報告後、一般会計収支決算、平成十九年度活動計画、会計収支予算案が原案通り、了承された。特筆すべき点は会則第九条により、小松教授が顧問に推挙され、就任した。本学教員が県同窓会の顧問に就任したのは富山県が初めて。

記念講演では、小松教授が「私ために地区役員を補充することが承認された。懇親会は時間の経過とともに酔いも手伝って、席を離れては思いの場に寄って再会を喜ぶ光景が繰り返された。なお、総会に先立って、今年も大学との共催で大学説明会と公開記念講演が実施された。

## 群馬県同窓会

恒例の「会員のための研修会」が十月二十七日(土)午後二時から前橋市の前橋ホテルで、小松洋吉教授を迎えて開催された。台風二十号のため市内は風雨が強く、荒れ模様だったが、十五人の熱心な会員が出席した。小松教授は冒頭で、大学の現状について紹介。その後、「現代福

一致で承認され、初代会長に渡辺憲介さんが選出された。ここに正式に「東北福祉大学札幌地区同窓会」が発足した。誕生を祝し、大和田教授から渡辺新会長に「札幌地区同窓会旗」が贈られた。記念講演は秋野学長

「福祉のころ」と題し、お釈迦さまの思想「生老病死」について熱く語った。大和田教授が音頭を取って乾杯。たちまち広いホールいっぱいには生現役をテーマに話した。世界の名作から「ハチドリ」のひとしく、「星の王子さま」、「青い鳥」の文章の中から一部を例に取り、人生の生き方について興味深く解説した。

懇親会は人数が十二人と少ないこともあって、膝を交えた打ち解けた雰囲気の中で進められた。総会は九月三十日(日)午後四時三十分から新潟東映ホテルで、江尻行男教授を来賓に迎え、開催

社を読む。これからの福祉を考える雑学」と題し、九十分にとわたり講演した。二十一世紀がどんな時代なのかについては「時代時代の対応策として福祉の力が社会の質を決める。福祉新世紀」を迎えるのではないかと話した。また、福祉の変遷をたどり、「国家の施しの時代」から「市町村中心の時代」に、そして「福祉の自由化の時代」へと進む傾向を指摘した。

## 新潟県同窓会

最後に、人間は①ビジョンを描くこと②ネットワークを作ること③真実を語る④学ぶこと⑤愛すること、の五つの手段こそが大事と結んだ。出席した会員は「学生時代のゼミの授業を思い出した」と熱心に聞き入っていた。

に歓談の音が響きわたり、同窓会誕生を喜んでいた。



同窓会誕生を祝って記念の集合写真

案があり、活発な意見の交流があった。役員会では、多くの意見を基に協議を重ね、方策を出すことを約し、総会を閉じた。懇親会には四十人が出席。大学の現状を紹介する資料を見て、母校発展の姿に感銘を受けた様子。現役学生四人は先輩一人ひとりを訪ねては、就職活動のための自己PRに懸命だった。

なお総会前には本学後援で恒例の市民公開講演会とシンポジウムが開催された。(3面に関連記事)

## 北海道空知地区同窓会

総会は十一月十日(日)午後六時から砂川市の高級居酒屋「山小屋」で開催された。最初に「北海道空知地区同窓会旗」の贈呈と、JR仙山線に「東北福祉大前」駅開業を記念して発売された「新駅開業記念入場券」が出席者二十三人に配られた。

高橋将会長(昭42社福卒)は砂川地区役員による総会開催準備の労をねぎらった後、「母校隆盛の姿を会報等で知り、驚いている。今後とも魅力と勢いのある大学へと発展していくことを期待したい。今宵は今を語り、将来を語る会にしたい」とあいさつした。その後、事務局からの提案事項について協議し、承認された。特に注目されたのは、次回の開

で図師博規氏(平3社福卒)が県議会議員に高得票で初当選したことと本県同窓会として名譽であり、誇りに思っている」と祝意を込めてあいさつした。図師氏は「選挙運動中に東北福祉大学という大学名の大きさに驚いた。当選も本県在住同窓生の協力があったこと。今後は福祉行政の専門家となり、県政に尽くしたい」とお礼と抱負を述べた。協議事項では、会則の一部を改正し、役員の増員と事務局長に謝礼金を支給できることを承認した。懇親会で、鈴木春彦事務局長が

## 宮崎県同窓会

十一月三日(日)高千穂町のホテル高千穂で、会員十一人が出席して開催した。今回、県北にある高千穂町での開催は、この地域に住む同窓生が参加しやすいように配慮がなされたため、そのかいあって三人の初参加があった。総会を前に「宮崎県同窓会旗」が本学から野田伊津岐会長(昭52社福卒)に贈られた。野田会長は「神話のさと高千穂町に三人の新しい。また春の地方統一選挙

催地を夕張市に決定したことだ。いまや夕張市は財政破綻に直面し、市全体が意気消沈状態にある。何とか明るさを取り戻してもらう一環として、総会を開くことになった。また、公開講座を平成二十年十

月中に開催することが決まり、空知地区同窓会事務局と夕張市在住同窓生により、準備に取り掛かることになった。懇親会では、地元特産の海の幸が振る舞われ、思わず舌鼓を打つなど、なごやかに進化した。生や在学生も出席し、大いに盛り上がりを見せた。(3面に関連記事)

## 北海道釧根地区同窓会

総会と公開講座が十一月二十四日(土)、釧路市のアクアホールで開催された。公開講座終了後の午後六時から総会が開かれ、本学就職部の平岡正志係長を交え、会員十五人とともに出席した。本学から井川哲雄会長(昭44社福卒)に「北海道釧根地区同窓会旗」が贈られ、早速正面に飾られた。井川会長から「本会のシンボルができた。同窓会旗に恥じない活動と会員の結束を図っていききたい」と謝辞が述べられた。

事務局提案事項は原案通り承認されたが、平成二十年度事業計画案では、同窓会設立以来、五年連続して開催されてきた公開講座を休止したいとの意向が提案され、了承された。平岡就職部長からは、本学の就職活動の現状について説明があり、合わせて集立つ学生への就職開拓に対する支援を要請した。懇親会には、通信教育部の卒業

「高校球児を指導して得た体験から」指導してきたものは何か、そして今、親と子に求めるもの」と題して、講演した。終了後の午後九時から高千穂神社の神楽殿で舞う「観光神楽」を観賞し、天孫が降臨したという言い伝えのある歴史に思いを寄せた。

新会長には小池芳子さん(昭37社福卒)、副会長に長田和代さん(昭43社福卒)と熊澤豊実さん(昭58福心卒)が選出され、承認された。任期は前役員の残任期間の平成二十年十一月一日まで。女性会長の誕生は山梨県に次いで二人目。

## 栃木県同窓会

平成十九年度総会は十一月十八日(日)午後三時から宇都宮市のコンセールで会員十七人が出席して、開催された。総会の中心議題は役員改選と新事業計画案の審議だった。役員改

も加わり、十人に増え、同会ならではのにぎやかな雰囲気にも包まれた。出席した佐藤教授は終始、温かいまなざしを注いでいた。

世界中で路上生活を強いられる子どもは約一億人に上ると言われる。彼らが描いた絵をカレンダーにして支援する芸術祭が注目される中、趣旨に賛同した東北福祉大では野球部OBの佐々木浩氏、斉藤隆氏や教職員、ゴルフ部の佐伯三貴さんら現役学生が選考した初めての東北福祉大版(四月〜〇九年三月)が二月十四日、発売される。定価千円。お申し込みは電子メール=charity@tfu-mail.tfu.ac.jpへ受け付け。

## 保育士課程同窓会

第十八期保育士課程同窓会「育みの会」総会は十二月九日(日)午前十一時から、母校管理事務棟四階ラウンジに佐藤美恵教授を来賓に迎え、開催した。同会にも本学から「保育士課程同窓会旗」が、小野高広会長(平10社福卒)に贈られた。総会出席者は四人と寂しかったが、小野会長は「第十七期を振り返ると、活動が消極的になり、恒例行事も思うようにならなかった。来年度はこれまで築いてきた事業推進に取り組みたい」とあいさつし、協議に入った。

十七期事業報告、会計報告、十八期事業計画案、会計予算案は提案通り了承された。役員改選(任期一年)では、定数に満たない役員を除き再任され、小野会長の二期目が船出した。懇親会には、子ども連れの会員

選では会長の大西三郎さん(昭39社福卒)と副会長の鈴木征夫さん(昭40社福卒)、同じく加藤栄久さん(昭49社福卒)の三人が「仕事の関係で同窓会の要職を全うすることが難しくなった」との理由で辞任を申し入れたことによる改選である。

また、新事業計画案として「分野別職種集い」を計画。まずはネットワークづくりに着手。顔合わせを兼ねて初会合を持ち、努力するとの方針が提案され、了承された。

## お詫び

新会長に就任した小池さんは小学校校長を定年退職。豊富な指導経験を持ち、栃木県同窓会をリードしてくれるものと期待されている。

懇親会は落ち着きのある和室で行われた。鍋を囲んだアットホームな空気が漂う中、発展する母校の話で盛り上がり、一年ぶりの再会を楽しんでいた。



佐々木浩氏が選んだニカラグアの子どもが描いた絵「私の住みたい場所」

世界のストリートチルドレンを支援するチャリティカレンダー